

令和3年度 上田北幼稚園 「園の自己評価」

1. 園の教育目標

「自然と人とあそべ 北っ子」

自然と触ふれあい、人とかかわり、こころ豊かな子の育ち

2. 本年度の重点目標

- 広い園庭で思い切り体を動かし、遊びを深めたり強い体を作ったりする
- 散歩活動や作物の栽培活動を通し、自然に直接触れる体験を大切にする。
- 異年齢や地域の人たちとの交流を通し、人とのつながりを深める。
- 「信学会による独自の教育課程」に基づいた活動を展開し、【ラーニングストーリーによる子ども理解】を推進する。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 考察

- 今年度も新型コロナウイルス感染症への対応から活動にかなりの制限がありました。しかし、教職員・保護者が子どもたちにできる最大限のことを試行錯誤しながら実践してまいりました。その中でも、本園の教育課程の実施について教職員が共通理解して実践できたか？園運営が適切に機能するために運営・責任体制の整備を行っているか？の評価がBとなっている。幅広い年齢層、経験値の違いなどが理由として考えられますが、それぞれの良さを生かし研修や職員会議等の機会を大切にしてお互いが切磋琢磨し個人の力量を高めたり、職員集団として同じ方向に向かって取り組んだりできる職員集団を作っていきたい。
- 地域・保護者の子育て支援ニーズの把握に努め、きめ細かな支援を行うとともによりよい教育環境を整えていきたい。